

第4回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（第2期）（会議要録）

◆協議会の名称 平成28年度 第4回嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（第2期）

◆開催日時 平成28年10月21日（金）19時00分～20時40分

◆開催場所 嘉麻市役所碓井庁舎 会議室1

◆公開又は非公開の別 公開

◆非公開の理由 （会議を非公開とした場合のみ）

◆出席者

（委員）

井原 徹会長 坂田 勲副会長 村上曙生委員 大山征男委員 田中穆委員

芹野彌生委員 松岡光昭委員 野見山利三委員 有吉直子委員

藤井幹裕委員 廣瀬公彦委員

※欠席委員 1人 野上真吾委員

（事務局）

総務財政及び市民環境担当総合調整監 秋吉俊輔

庁舎・交通体系対策室 小林純一、橋垣康秀、柴田英樹、山口宏彰、塚本明弘

堤亮介、犬丸亮子

（設計業者）

株式会社久米設計九州支社

◆傍聴人数 3人

◆議題及び協議の内容

1 会長あいさつ

・今回は山鹿の見学をさせて頂き、また設計事務所の方、いろいろ実際の職務、仕事をしてる最中のなかでご説明を頂きましてありがとうございました。また今日は、特に新庁舎の設計案に関する審議で、設計の説明があります。更には皆さんの積極的な審議をお願いしたい。

2 報告

(1) 藤井委員からの意見・質問について

(2) 経済産業局の鉤区図について

(3) **資料11** あすみ会の協議状況について

・事務局から資料に基づき説明がありました。

3 議事

(1) 第2回審議会の会議録承認について

・事務局から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

・（委員）前回の議事録の中では免震構造を前提に書かれているが、免震構造と耐震構造に

については審議すべき。意見が無かったから免震ということになるとまずい。

⇒（事務局）昨年度の審議会の中で基本計画を審議し、7つの基本方針に掲げるそれらの要素を、市の方で庁舎課題に関する基本計画というかたちで整理をし、今回の新庁舎の建設に関する予算の仕組みとして、構造、延床面積、施工範囲、事業年度について整理している。免震構造等に関しては、建設基本計画案で頂いた答申をベースに、専門的な分析を行った中で1つの方向性として建物、外構を含めたかたちを計上している。内容については質問の回答として書面にて提示する。

(2) **資料12** 新庁舎建築設計（案）に関する審議資料

・設計業者から資料に基づき説明がありました。

《主な質疑及び意見等》

・（委員）水害の件で大雨が降っても水が建物の中に入らない工夫をするのか。

⇒（事務局）防潮板の設置等を検討している。

・（委員）150年に1回の確率として想定されている集中豪雨時においては、河川の水位も相当上昇していると思うが、敷地周辺の雨水処理は可能なのか。

⇒（事務局）防災計画と密接な関係がある。当該地域周辺においては、平成3年以降、周辺水路の改修や白門井堰の整備など内水対策を実施している。また、平成22年から県道の豆田線に排水対策の整備を実施しているので、排水断面については従前よりも随分よくなっていると聞いている。市の中でも安心・安全な専門部会で検討しており、内容について報告したいきたいと思っている。

・（委員）建設基本計画の審議の際、地下調査をした結果、問題なかったのになぜ改めて地下調査を実施するのか。

⇒（事務局）建設基本計画の際は、土地の地質がどのような状況なのかを確認する簡易調査を実施。今回は建てる場所が決まった時に、建物の下の地層に関する地質調査が必要になる。これについては建物を建てる際に、確認申請とか国に対する手続きが必要になり、その際に地質調査結果がないと許可がもらえないので、今回地質調査を実施する旨、先程説明している。

・（委員）平面の計画で出来るだけ動きやすい「コンパクトな庁舎」と7つの基本計画に対する考え方の資料8における同じ「コンパクトな庁舎」が出るけどこれは同じ意味なのか。

⇒（事務局）平面計画の考え方は基本方針の4に該当し、一方は基本方針7の財政計画に該当するため意味は違う。

・（委員）建築設計を行う際には、意外とそういうキーワードが多様な意味を持つということでご理解いただければいいと思う。

・（委員）水害対策でバックアップ電源は何処に設置するのか。

⇒（事務局）上部階の電源室、フロアというかスペースに設置することになる。

・（委員）免震として今の予定の建物の規模を前提とした場合、免震装置は何個付けるのか。

⇒（会長）資料の方に記載されているが5階建てだと48箇所必要となっている。

・（委員）5階はワンフロア全部が議会で使用するのか。

⇒（委員）応接室、委員会室。そして議事堂だけではなく、議長室、会議室が入るみたいだが、縮小できるならしてもらった方がいい。

・（委員）市民との交流を考えるならば市長室を低層階に設置した方がいいと思う。

- ・(委員) 山鹿市役所の地下にあったような、設備等の設置予定はないのか。
- ⇒(事務局) 今後、詳細な内容をお示しするようなかたちになるかと思う。今回は階層と配置計画、そういった部分を示したという現状である。なお、新庁舎に地下の設置は予定していない。
- ・(委員) 地震対策で免震か耐震かは、いつ頃までに決めて欲しいのか。
- ⇒(事務局) 28年度から32年度までの継続費という予算の考え方の中で。去年はコンパクトで使いやすい庁舎を答申書で頂いたかと思っている。その中で基本的な予算の考え方として、構造についてはRC5階程度、免震構造、延床面積9,000㎡、予算算定条件として設計費、施工管理費、本体建築に浄化槽、そして外構工事まで含めた継続費として総額、3,954,869千円の予算を頂いている。そういった観点において、この予算を元にプロポーザルでの設計の内容を提案頂き、委託業者に久米設計さんになって頂いているので、基本的なスタンスとしては、この設計条件をベースに設計を進めている状況となっている。
- ・(委員) 免震と耐震はかなりの金額に差があるし、説明の資料も不足している。市から資料や説明を受けて慎重に審議したい。
- ・(委員) 現実問題として山鹿市役所を見て揺れが無かったということで免震でいいのでは
- ・(委員) 設計としては5階で免震にするということで進んでいる。
- ・(委員) 資料に出ているように、耐震と免震の違いはこれぐらいでしか我々には理解できない。耐震では上が揺れる、免震は揺れないということであれば、当然3億という大きな金額かもしれないが、揺れを考えれば免震ということでもいいんじゃないか。
- ⇒(事務局) 機関決定いただいたものを前提として議論をお願いしたい。ただし、ご指摘のとおり、事務局の方も説明が十分ではなかった点もあろうかと思うので、次回文章にてご不明な点を回答させて頂きたい。
- ・(委員) 4階の案がなぜ出てないのかを聞きたい。
- ⇒(事務局) 階層比較の表を出しており、それに類似する5階が一番適切だと思う。その過程も含めて資料等を提出していきたいと思う。

4 その他

(1) ワークショップの実施について

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。
- 《主な質疑及び意見等》
- ・(委員) 支所の規模とか機能について一応行政として支所別に1課2係制、職員15人、面積が500㎡と決まってるがワークショップすることでそれが変わる可能性はあるのか。
- ⇒(事務局) ワークショップのご意見は、今後の支所、地域づくりの参考にさせて頂きたいと思うところであり、様々なご意見を集約しながら、地域整備の審議会の方にもご報告させて頂いて、また審議会の中で反映できるような意見を是非とも提供させて頂ければと考えている。
- ・(委員) 3つの支所には業務の何割程度の業務量を持たせる予定なのか。
- ⇒(事務局) 業務量の配分は非常に数字で示すのは難しい。今計画している支所の機能で第1次窓口機能を果たしていく。そこで不足するマンパワーや様々なノウハウがあれば、それは当然、本庁機能で補ってサービスの低下を招かないような組織全体での構築を目指していく

と、そういうふうな基本的な考えで進めている。

- ・(委員) 国道322号線のバイパスがつながる道がどこなのかをワークショップで資料として出して欲しい。

⇒(事務局) 公表できる資料があれば持参して会議場を周っていきたいと思う。

5 次回の開催日程

日時 平成28年11月25日(金) 午後7時～

場所 碓井庁舎2階 会議室1

【20時40分閉会】